

TCHAIKOVSKY SYMPHONY ORCHESTRA

VLADIMIR FEDOSEYEV, *Artistic Director & Chief Conductor*

FUMIAKI MIURA, *Violin*

チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ

Tchaikovsky Symphony Orchestra

モスクワ放送交響楽団として1930年に創立。74年から現在に至るまで、ウラディーミル・フェドセーエフに率いられている。歴代の指揮者にはアレクサンドル・オルロフ、ニコライ・ゴロヴァーノフ、アレクサンドル・ガウク、ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー等が名を連ね、レパートリーを管弦楽曲のみならず、カンタータ、オラトリオ、オペラまで、そして古典から数々の現代作品の初演まで充実させていった。93年にはロシア文化省、国際チャイコフスキー協会、チャイコフスキー博物館の任命によりチャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラに名称を改め、ロシアが誇る偉大な作曲家の音楽をウィーン、ロンドン、パリ、ミラノ、ミュンヘン、ジュネーヴ、ストックホルム、オスロ、ブラハ、東京など世界中のコンサートホール、そして数々のレコーディングで広めるためにますます大きな役割を果たすこととなる。また、ザルツブルク、エディンバラをはじめとする世界有数の音楽祭にも定期的も招かれている。レコーディングもレコード時代から数え切れない程の名盤を残しており、2020年には待望の新譜もリリースされる予定。2017年秋以来3年振りの来日。

ハノーファー国際ヴァイオリン・コンクール最年少優勝の 三浦文彰と共に、円熟の巨匠フェドセーエフが 王道の名曲で魅せる激情と哀愁!

ウラディーミル・フェドセーエフ (芸術監督・首席指揮者)

Vladimir Fedoseyev, Artistic Director and Chief Conductor

1932年レニングラード(現サンクトペテルブルグ)生まれ。74年、モスクワ放送交響楽団(現チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ)の芸術監督及び首席指揮者に就任。以後40年を越えるパートナーシップを築いてオーケストラをロシアのトップクラスの楽団に育て上げ、世界ツアーを通じて海外での評価も確立している。ロシア以外にも、バイエルン、ケルン、シュトゥットガルトの各放送響、ドレスデン・フィル、フランス国立管、ベルギー国立管、チューリヒ・トーンハレ管、フィンランド放送響、クリーヴランド、デトロイト、ピッツバーグ等欧米各国のオーケストラにも客演。97年から2004年までウィーン交響楽団の首席指揮者も務めた。オペラの分野でも精力的に活躍、チューリッヒ、ウィーン、ミラノ、フィレンツェ、ローマ、ボローニャ、ポリショイ、マリンスキー等の歌劇場や音楽祭の指揮台に上がっている。また2013年の初共演以来、NHK交響楽団の指揮台に定期的に登場、日本国内での人気をますます高めている。

三浦文彰 (ヴァイオリン) *Fumiaki Miura, Violin*

2009年世界最難関とも言われるハノーファー国際コンクールにおいて、史上最年少の16歳で優勝。国際的に一躍脚光を浴びた。ロサンゼルス・フィル、ロイヤル・フィル、ロイヤル・リヴァプール・フィル、マリンスキー劇場管、チャイコフスキーシンフォニーオーケストラ、NDRエルプ・フィル、ハノーファーNDRフィル、シュトゥットガルト放送響などと共演。共演した指揮者には、ドゥダメル、ゲルギエフ、フェドセーエフ、ズーカーマン、クリスティアン・ヤルヴィ、ワシリー・ペトレンコ、フルシヤ、ドゥナーブ、カンブルラン、インキネン、大野和士などが挙げられる。リサイタルでも、ルーブルでのパリ・デビュー、ウィグモアホールでのロンドン・デビューが絶賛を博した。NHK大河ドラマ「真田丸」テーマ音楽を演奏したことやTBS「情熱大陸」への出演も大きな話題となった。18年10月からスタートしたサントリーホールARKクラシックスではアーティストック・リーダーに就任して、音楽祭を主宰する念願を果たした。

19年以降のハイライトとして、ズーカーマン指揮バルセロナ響、ティチアーティ指揮ベルリン・ドイツ響、ロウヴァリ指揮エーテポリ響、エストラーダ指揮フランクフルト放送響、ポーガ指揮ケルン放送響、ダウスゴー指揮BBCスコティッシュ響、リットン指揮都響、カンブルラン指揮読売日響、ウィーン室内管などとの共演が予定されている。また、ピリスとのデュオ・リサイタル、ズーカーマンとの室内楽、バシュメットとの室内楽、スペインや日本でのリサイタルツアーも予定されるなど、国際的活動の場を広げている。CDはエイベックス・クラシックスよりリリース。09年度第20回出光音楽賞受賞。使用しているヴァイオリンは、宗次コレクションより貸与されたストラディヴァリウス 1704年製作 "Viotti"。

